

TDA 産学テキスタイルデザイン・シンポジウム(大阪)

■日 時: 11月8日(土)

■場 所: 大阪化繊会館



『産学交流テキスタイルデザイン・シンポジウム』と称し、今後この業界を目指している学生達向けに、簡単な業界ガイダンスを行なった後、“ファッション関係”、“インテリア関係”、“進路未定含むその他”という3グループに分かれ、ディスカッション形式のセミナーが開催されました。

約30名の参加者(教員2名、高校生2名含む)は、前半だいたい3等分に分かれ、後は各自の興味に従い、自由にグループ移動を行なう流れで、後半には大半がファッション、インテリアのグループへ移動しました。

私が先輩として参加させて頂いたのは“進路未定”のグループです。他グループの詳細は分かりませんが、会場は活発に話が行なわれており、こちらも大きな声を出さないと、他の声にかき消されてしまいそうな熱気に溢れていました。参加人数がこじんまりしていたので、密に話をする事が出来たと思います。

参加して良かったな、と思ったのは学生さん達が、ほんのちょっとした事、と私達が思える事で、戸惑っていたり、悩んだり、不安を抱えていたりするんだな、という事を実感出来た事です。

最初は、先輩として何か為になる事を話せるのだろうか?と心配でしたが、学生さん達の不安を払う事、一歩踏み出そうというきっかけ作りになったのだ——と、終了後に学生さん達から“ありがとうございました。”と言われて、そんな風に思え、とても嬉しく思いました。

進路未定と自覚して、このグループに参加した学生さん達も、質問の内容や、自分の興味ある事を話すのを聴いていると、皆しっかり自分の考えや夢を持っていると思いました。ただ本人達にはその自覚や、自信を今ひとつ持てずにいる様にも見え、学生さん達に必要なのは、この業界の情報は勿論であるけれども、単純に大丈夫だよ、という言葉や、何とか成るよという事、そして学生さん達が、自分では気付いていない自分達の夢や輝きに、自信を持って!と伝える事、学生さん達の話聴いていて、そう思いました。

同じグループの講師であるクリエイティブオフィス5lira吉川氏も私も、スタジオ勤務という事で、“どうすればそこへ入れるのか?”また“どうやって探すのか?”という質問が多く有りました。様々なケースがあるにせよ、やはり人とのつながり、ネットワーク、コミュニケーションを大事にする事、そして自分がしたい事、している事をアピールする、そんな“一歩”が大事である、という話をしました。

シンポジウムを通じて、講師側からの話だけでなく、他の学校の学生のお互いに聴けた事は、学生さん達には、良い刺激、貴重な体験になったのではないかと思います。色々な人の意見や考えを聴く事、また自分の考えを述べる事、発信する事で、お互いに豊かになっていきたいものです。話をされていて、意識してそういった場を作り出す大切さも実感しました。

今回はじめて聴く側から話す側になり、TDAの活動に参加させて頂いた事、そして参加者の方々の声を聴かせて頂いた事は、私自信にとっても大変有意義なものであったと思います。また、参加する事でTDAは色々な会員の方々の助力があって成り立っているのだ、と実感致しました。

最後に、参加者皆様に、感謝の意を表します。どうも、ありがとうございました。
(レポート 高橋 美樹)